



亀中だより

No.40 令和4年1月21日 文責:岡田



For The Students!

3学期が始まり、2週間が過ぎました。相変わらずの厳しい寒さが続いています。保健体育の授業に向かう3年生に「体育は何するの?」と声をかけると、「バスケットボールとサッカーの選択です」と教えてくれました。「どっちをするの?」と尋ねると、こたえは「どっちもしたくない」(笑)。無理もないかと思いましたが、「頑張って、行ってらっしゃい」というと「行ってきまーす」と笑顔で手を振ってくれました。

おそらく彼女は授業が始まれば切り替えて頑張るんだろうなと思える姿がありました。言葉は必ずしもその通りではないし、そんな言葉も口に出しておいて、気持ちを切り替えるってこともありだよねと思います。外気温度は5℃、校長室にいてもヒューヒューと風の音が聞こえてくる寒い日の出来事でした。

新年の決意が3日しか続かない!のはどうしてか…

韓国で22万部の大ベストセラーとなった『『後回し』にしない技術』という心理学博士イ・ミンギョ先生の本があります。読まれた方も多いかもかもしれませんが、ご存じでしょうか。機会があればここでも紹介したい内容が盛りだくさんです。今回はその中から「新年の決意が3日しか続かないのはなぜか」を紹介します。

心に誓った新年の決意が、何日もたたないうちにうやむやになってしまう最大の理由は、「心の中に実行したくないという強い動機」があるからだとか。何かを始めるときに「食事の後にやろう」とか「机を片付けてからやろう」などといった考えは、すなわち「今はやる気がありません!」とっているようなものと著者は言っています。

たしか3年生はこれから大切な試験がたくさんあるんだっただよねえ。後回しにしてしまっていないですか。ベストタイミングは常に「今」です。

明日なら
できる
気がする

ちょっと話…

1月17日の月曜日、神辺小学校の校長先生からお電話をいただきました。

“お礼”があって電話をしたとのことでした。よくよく話を聞いてみると、この日の登校時に神辺小の集団登校からはぐれてしまった1年生を本校2年生の市川愛望さんが助けてくれたとのことでした。市川さんは一人ぼっちになって不安げな1年生に寄り添い、自転車を押しながら一緒に神辺小学校まで送り届けてくれたそうです。とても寒い朝でした。1年生の児童からすると心細く、悲しくなってしまうところへ舞い降りた天使だったことでしょう。お話を聞いてほっこりするとともに、こんな心のやさしい生徒がいてくれる亀中がまた誇らしく思えました。

愛望さん、ありがとう!



COVID-19

新型コロナウイルス第6波の感染急拡大が続いています。三重県は「感染拡大阻止宣言」を発出していましたが、政府に「まん延防止等重点措置」を要請し、今日から適用となりました。亀山市教育委員会からのメールでもご案内されているように市内の児童生徒、教職員にも感染があり、今後も予断を許さない状況にあるといえます。学校でもさらに感染対策を徹底していきますので、ご家庭においても日々の健康管理や健康観察を丁寧に行うとともに感染対策にご留意いただきますよう、よろしくお願いいたします。

